

『保険契約者の資金ニーズ』と『投資家の運用ニーズ』のマッチング

ライフセトルメント

ライフセトルメントをご存じでしょうか？

ライフセトルメントとは、「生命保険契約の契約者が不要となった生命保険を解約せず、保険金を受け取る権利を第三者に売却することで、解約した場合に生命保険会社から受け取る解約返戻金よりも高額な一時金を生前に手にすることが出来る取引」です。



通常の生命保険契約



ライフセトルメント契約



ライフセトルメント取引の流れ

- 1 生命保険の資金化を希望する「生命保険契約者」が、ライフセトルメント市場において生命保険契約の売却を提示
- 2 新たな投資対象と収益の獲得を目指す「投資家」が購入代金を支払う
- 3 生命保険契約が「投資家」に移転(生命保険の「被保険者」は変更なし)
- 4 「投資家」は以降の保険料を支払う
- 5 「被保険者」が死亡した際、「生命保険会社」は「投資家」に保険金を支払う

生命保険契約者にとって新たな選択肢

※ライフステージの変化等の例

- 【目的の消滅】 配偶者との離婚、配偶者や子供の死亡など「保険金を受け取るべき人がいなくなった」
- 【目的の達成】 子供の成長や独立、不動産ローンの完済など「もともとの保険の目的がなくなった」
- 【目的の変更】 長期療養費用、生活の質を上げる、プレゼント購入、寄付など「生きているうちにお金を使いたい」

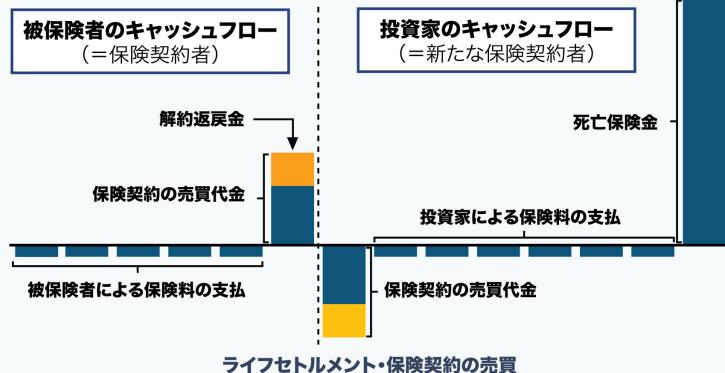
生命保険契約者のメリット

生命保険契約者は、保険解約に代わる新たな資金調達手段が得られることになり、リバースモーゲージと並んで「資産」の有効活用、流動化が可能となります。通常、ライフセトルメントにおける売買価格は、保険を解約することにより得られる「解約返戻金」よりも高額となります。

投資家のメリット

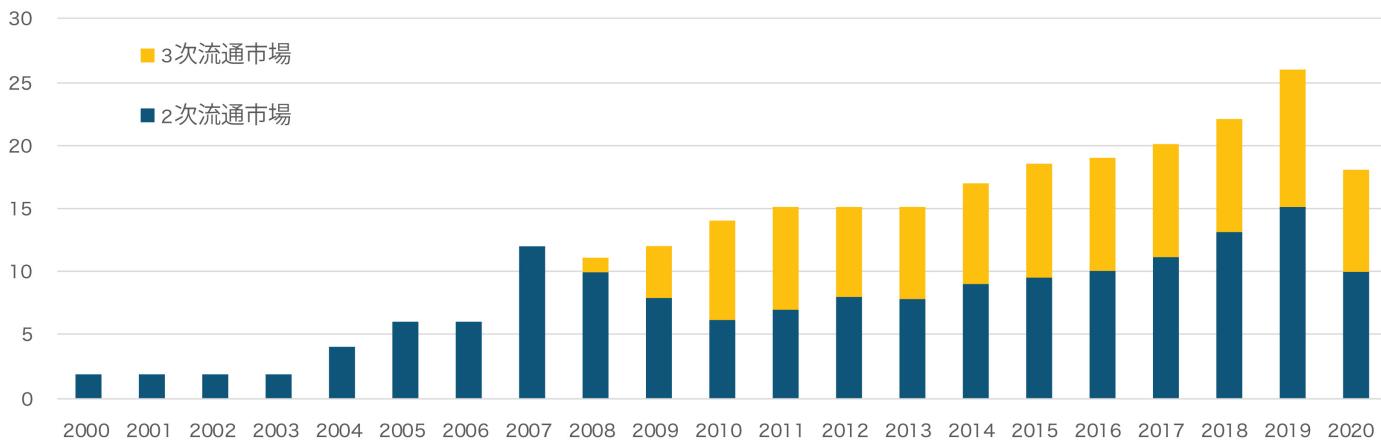
ライフセトルメントは一般的に他の金融資産と相関性が低く、また経済動向の影響を受けにくく、相対的に安定的な利回りが期待できます。現在の投資家は、個人富裕層、企業、銀行、証券会社等の金融機関、投資ファンド、年金基金など機関投資家のほか、一部の生命保険会社も買い手となっています。

一般的な生命保険契約からライフセトルメントへ



米国ライフセトルメントの市場規模推移

単位:10億米ドル



出所：カーライル・マネジメント社

一般的なリスク

■市場変動リスク：ライフセトルメントは、生命保険契約の売買を行う米国の市場で流通している米ドル建ての保証書を投資対象とした取引であり、生命保険契約などの値動きにより取引価格が上下しますので、これにより損失が生じ、投資元本を割り込む恐れがあります。

■法律変更に係るリスク：ライフセトルメントは証券法や税法を含む様々な規制や法的必要条件に従わなければなりません。ライフセトルメントの保有期間に中に何れかの法律に変更があった場合、投資家が従うべき規制や法的必要条件が現状のものから大きくかけ離れたものになるかもしれません。

■税金リスク：ライフセトルメントについては、多くの複雑な税務についての検討が必要です。投資を行う国においての税制の変更、また、それらの国及び投資家が居住する国が国家間で交渉する租税条約についての変更は、投資家の投資しているライフセトルメントのリターンにマイナスに影響する可能性があります。

ライフセトルメント投資に係るリスク

■長生きリスク：長生きリスクとは、ライフセトルメントの元となっている生命保険の生命保険契約者（被保険者）が、予想余命よりも長生きをした際に、ライフセトルメント購入者（あるいは投資家）が被るリスクのことと言います。投資した生命保険契約の被保険者が想定よりも長生きした場合は投資利回りは低下し、逆に想定していたより早く死亡した場合は投資利回りが上昇するという傾向があります。一般的には、投資した生命保険契約の被保険者の数が十分に多ければ、このリスクは相対的に小さくなります。

■生命保険会社の信用リスク：死亡保険金の支払義務を負う保険会社が将来支払不能に陥るリスクがあります。このリスクをある程度限定的に入っている要因があり、それは、(i)米国では死亡保険金額の約30万～約50万米ドルまでが公的に補償される。(ii)保険会社が清算手続きに入ってしまい一般的にその既存の保険契約は他の保険会社に引き継がれる、(iii)債権としての生命保険契約は他の債権者に対して税金等に次ぐ高い優先順位を持つといった点です。

■法的リスク：ライフセトルメントの売買に関して、州レベル、もしくは国レベルで何らかの規制がされることにより、ライフセトルメント取引関係者が十分にその機能を果たせなくなるリスクがあります。

■死亡率リスク：投資した生命保険契約の被保険者につき、その死亡率評価に変化が生じた場合、ライフセトルメントの価値が変動するリスクがあります。投資家が、多数の生命保険契約を保有する場合、被保険者個々の理由により死亡率が変化したのであれば、ポートフォリオに与える影響は限定的ですが、例えば死亡統計を基にして米国アクチュアリー協会が数年に一度公表する死亡率の評価基準表に万一目立った変化があった場合などには数多くの被保険者の死亡率に影響しますので、投資価値の変動に対する影響は大きなものになる可能性があります。

■流動性リスク：ライフセトルメントは、購入しても個々の保険契約の被保険者の死亡時まで収入はありません。従って現金化するには、ライフセトルメントを3次流通市場で売却する必要がありますが、3次流通市場は業者間売買のため高度に規制されているわけでも成熟しているわけでもなく、その市場が今後も存続する確証はありません。故に現金化に遅れが出る可能性があります。

■倫理的リスク：ライフセトルメントが対象としているのが究極的には人の死である以上、それを投資の対象として良いのか、というバイアスから生じるリスクがあります。また、生命保険を契約する時点では被保険者に関する被保険利益を持たない第三者の投資家の利益のために、生命保険証券を創出し、売買するSTOLI取引のような、保険契約者の利益に反した契約や、その他の不正な契約に基づくライフセトルメントに投資してしまうリスクがあります。

【本資料のお取扱いについてのご注意】

本資料は、情報提供を目的としたものであり、投資勧説を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料の情報の出所は記載のある場合を除きカーライル・マネジメント社より取得しており、当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また本資料に示されたコンテンツ、数値、図表及び体裁等は資料作成時点のものであり、当社の判断で将来予告なく変更されることがあります。

 **Leading 証券**

〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル5階 www.leading-sec.com
商号等／リーディング証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第78号
加入協会／日本証券業協会

資料のご請求、ご質問など、こちらまでお気軽にお問い合わせください！

受付時間9:00～17:00

(土日・祝日・年末年始を除く)

0120-936-884

営業本部：03-3553-2119 金融商品部 IFAチーム：03-4570-2639